



年頭のあいさつ 庄原市長 木山耕三

明けまして、おめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新春を穏やかに迎えることと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、平成30年・令和2年豪雨災害からの復旧・復興に取り組むさなか、新型コロナウイルスの感染拡大が進み、市民生活や地域経済が大きな影響を受けました。さらに、7月には高野地域、8月には庄原地域、東城地域などを中心とした広い範囲で豪雨による多くの被害が発生する中であって、災害からの復興や感染防止に取り組んでいただいていることに、深く感謝を申し上げます。

本年は、これらの困難を乗り越えて、希望あふれる年となるよう、市民の皆様と一体となって取り組みを続けてまいります。

であることなどから、「桜花の郷」※ラ・フォーレ庄原と決定し、観光客の方々に加え、市民の皆様にも愛される施設となるよう、この春の新たな営業開始に向けて準備を進めております。

令和4年の取り組み

本年は、引き続き市民の皆様への安心・安全を守るため、平成30年7月豪雨災害をはじめとした、度重なる被災からの復旧を切れ目なく推し進めるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組む、地域経済をしっかりと支えてまいります。

また、本市の最重要課題の一つである人口減少対策につきましても、これまで、長期的な視点に基づき、総合的かつ粘り強く取り組む必要があることから、「第2期長期総合計画」および「庄原いちばんづくり」による施策・事業を着実に推進してまいりました。新年度からは、昨年庁内に設置をした人口減少対策戦略本部会議での議論を基盤として、人口減少の抑制にインパクトのある事業を取りまとめ、全庁をあげて人口減少対策に取り組んでまいります。

およそ2年にわたる新型コロナウイルスの感染拡大によって、ビジネスや市民生活の様式が大きく変わりました。

そのような中、コロナ禍における働き方の多様性を念頭に、本年春には比和町に市内2カ所目となる遊休施設を活用したお試しオフィスを整備し、市外企業と連携してワーケーションの体験モニターツアーの実施なども拡大してまいります。

引き続き、市内へのサテライトオフィスの誘致も含め、引き続き、市内へのサテライトオフィスの誘致も含

令和3年を振り返って

さて、昨年を振り返りますと、3月には、コロナ禍により影響を受けた市内経済の回復と市民生活への支援として実施したキャッシュレス決済推進事業において、非接触型決済カード「いざなみカード」がスタートし、継続した利用促進に取り組ましました。

また、西城小学校子育て支援施設の整備により、児童の健全育成を図るとともに、子どもたちの安心安全な環境や、さらなる子育て支援の充実を図ることができました。

6月には、西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）から、芸備線沿線地域の現状や利用状況などの把握と、利用促進施策について協議するよう申し入れがありました。芸備線は本市にとって貴重な交通手段であることから、これまでも日常利用だけでなく、観光利用においても重要な地域資源であると考え、利用促進に取り組んでまいりました。今後も沿線自治体や市民の皆様など一丸となり利用促進策が実施できるよう、連携を深めてまいります。

同じく6月には、広島市中央卸売市場食肉市場で、「比婆牛」に限定した販売促進会が開催されるなど、ブランド力向上や増頭支援の取り組みの進展を実感しており、引き続きさらなる高みを目指してまいります。また、11月には、日本郵政株式会社から譲渡の打診を受けていた「かんぼの郷庄原」を市において取得をいたしました。

新たな施設の愛称は308件の応募をいただいた中から、桜の名所が随所であり、季節の花々が楽しめる本市のイメージや、森に囲まれ自然を満喫できる施設をいたしました。また、感染症の感染状況を踏まえての取り組みとなりませんが、アフターコロナ時代を見据えて、本市が誇る自然環境や食材、地域の温かさを実感していただける観光資源や交流イベントを積極的にPRし、「桜花の郷 ラ・フォーレ庄原」をはじめとする市内各所の観光施設も活用した、観光交流人口の拡大による地域の「にぎわい」の創出を目指してまいります。

この他、主な事業として、平成30年から着手しておりました新焼却施設の整備が完了するほか、市民の文化活動と住民活動の拠点である、庄原市民会館・庄原自治振興センターについて、大規模改修の本体工事が本格化したします。市民会館は非常用発電装置を備えて避難所としての機能を充実を図り、自治振興センターは新たに多目的ホールを備えた施設として、庄原産材を活用した温かみがあり、全ての利用者にとって使いやすい施設に生まれ変わります。

さらには、庄原小学校放課後児童クラブの整備工事に着手するとともに、東城地域の子育て拠点整備の具現化に向けた取り組みなど、子育て環境のさらなる充実を図ります。

結びに

本年も、安心を実感し、夢と誇りを持てる「庄原いちばん」の実現に全力を尽くしてまいります。

市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心より祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。



11月 「かんぼの郷庄原」を取得し愛称を「桜花の郷ラ・フォーレ庄原」に決定



11月 芸備線・木次線の利用促進のため「県境鉄道サミット」を開催



6月 比婆牛振興の取り組みとして「比婆牛販売促進会」を開催



4月 65歳以上の人への新型コロナウイルスワクチン接種が開始



3月 「いざなみカード」市内加盟店での利用開始

2021年を 振り返る

広報しょうばらのバックナンバーは、市ホームページからご覧いただけます。



<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/government/koho/pr/>